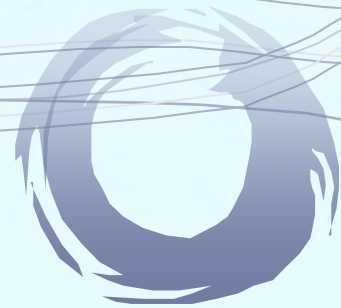


JURA城西大学機関リポジトリ ーコンテンツ拡充の取り組みー

「JURA(ジュラ)」(Josai University Repository of Academia) 名前の由来は、「ジュラ紀」に栄えた恐竜、森、原生林を意味するラテン語jura(ユリア)から、学術文献の保管基地として根を張り広がっていくように付けました。

城西大学水田記念図書館
若生政江



CSI委託業務の成果

- コンテンツ拡充
特にバックナンバーのデジタル化
- コンテンツ収集方法の確立
学内他部署との事務協力
- 学内への認知度
「問い合わせや登録依頼が向こうからやってくる」
ボーンデジタルが生まれる環境



コンテンツ拡充

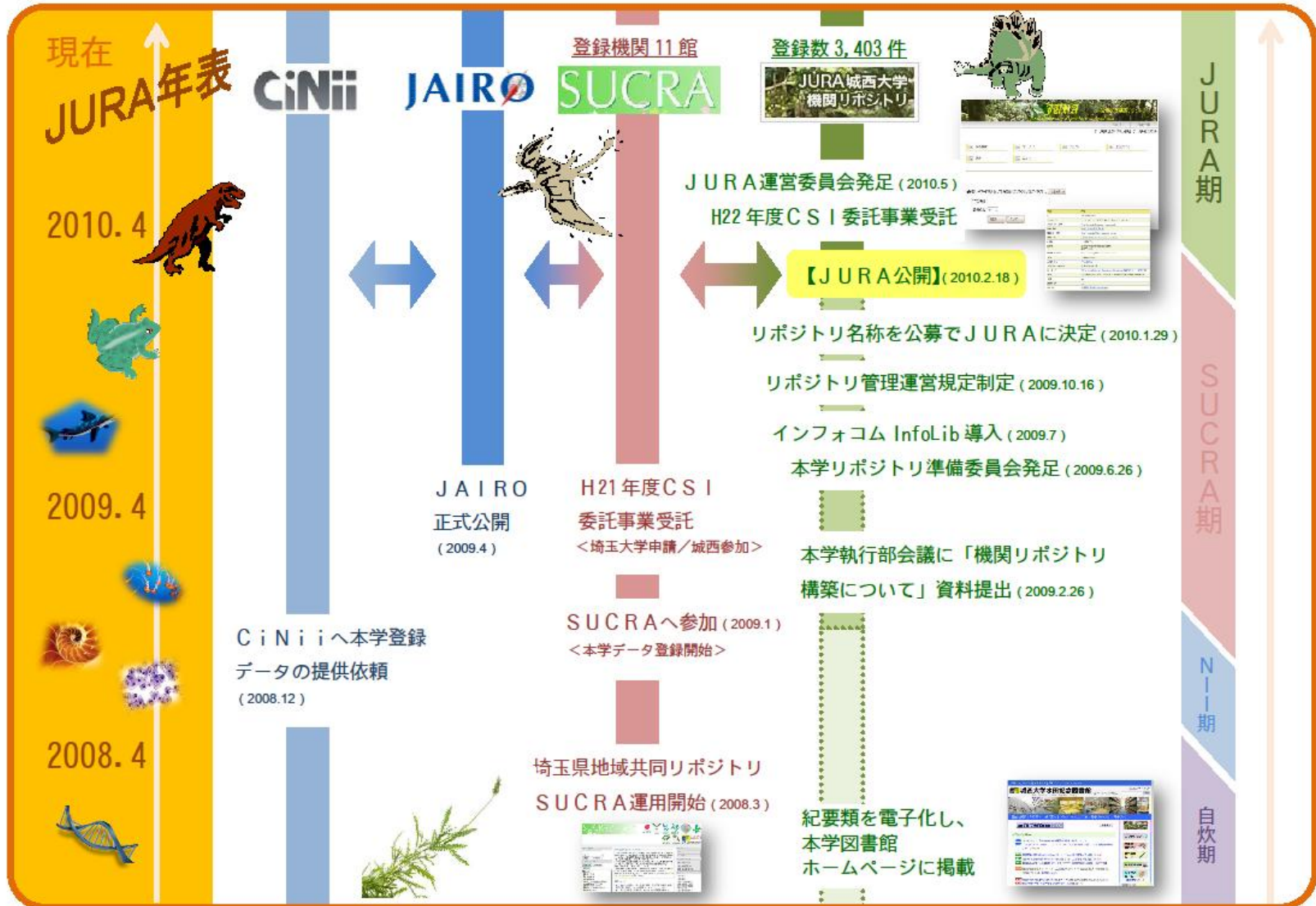
- 紀要・年報 541件
- 科学研究費報告書 49件
著作権譲渡、別刷り添付など許諾が取れないものについて非掲載
- 学位論文（博士）53件
国立国会図書館の電子化対象(1991～年度から2000年度) 以外
- 学術雑誌論文



コンテンツ収集方法の確立

- 紀要・年報等
 - 著作権は大学に帰属・全文公開
 - 投稿規程の改正
 - 発行と同時に電子版を図書館へ納品
- 科研費報告書
 - 教務課へ電子版とIR登録許諾書提出
- 学位論文（博士）
 - 事務室へ論文提出時に電子版とIR登録許諾書提出
- 学外発表論文
 - 学務課へ投稿料申請時に電子版(著者版)とIR登録許諾書提出
- 公開講座 講演者へのIR登録依頼（教員）
 - 生涯教育センターを通して電子版とIR登録許諾書提出

JURAの背景



今後の課題

- 国立国会図書館がデジタル化する学位論文（博士）の取り込み
- その他の資料の取り込み
貴重書・古書・映像資料・美術資料ほか
保存しておきたい城西大学の情報
- 大学の「研究者総覧」との連携
- 出版社・学協会のIRポリシー問題
- 公開しないアーカイブDB
- IR担当人材の確保

